

平成26年度 エコロジー標語の大賞作品(小学生の部)を紹介します

(※各入賞作品は市のホームページでご覧いただけます。トップページで「エコロジー標語」と検索してください。)

長岡市では、市民の皆さんから環境について考え、環境に配慮した取り組みを行っていただくきっかけとするために、「エコロジー標語コンクール」を実施しました。作品を募集したところ、小学生の部には93点の応募をいただきました。

**小学生の部 ぶんべつで
大賞 ごみもへんしん
エネルギー**



かねこ かな
福戸小学校 4年 金子可奈さん

---受賞者にお聞きしました---

Q. 標語を考えたきっかけは?

4年生みんなで、鳥越グリーンセンターに見学に行ったとき、ごみを少なくするための工夫を教えてくださいました。みんなでごみを少なくして、よりよい生活をしていけるように、標語をつくって呼びかけようと考えました。

Q. 環境にやさしい取り組みをしていますか?

ペットボトルがリサイクルで別の物(衣類など)に変わることが分かったので、ペットボトルをきれいに洗って分別しています。

ごみを分別して出すことは、リサイクルにつながることで、大切なことだと思います。

使用済み **使い捨てカイロの“中身”を集めています**

【期間:平成26年12月1日~平成27年5月31日】

NPO法人「地域循環ネットワーク」では、ごみの減量のため、環境を守るために、家庭から出る使用済みの使い捨てカイロの“中身”を回収箱を設置し回収、資源としてリサイクルする活動を行っています。

回収したカイロの中身は、市内の工場に運ばれ、原材料である鉄粉が“鉄の資源材”として活用されています。

問い合わせ NPO法人 地域循環ネットワーク
(東蔵王2丁目)
電話:0258-34-4450

出し方

- ① 袋を切って中身を出す
 切った袋は「燃やすごみ」へ
- ② ビニール袋に入れる
- ③ 回収箱に持ち込む

◆出すときの注意点◆

- ・中身とは、使用済みの使い捨てカイロの袋から出る黒茶色の粉や塊のことです。切った袋は「燃やすごみ」に出してください。
- ・使用期限切れのカイロも回収しています。ただし、必ず包材の封を破り、数時間放置し、十分に熱を冷ました上で中身を出してください。
- ・期間外は回収しません。次回の冬までご自宅で保管してください。

◆回収箱のある施設◆ (Cはコミュニティセンターの略です)

- ・新町C ・大島C ・表町C ・上川西C ・川崎C(分館)
- ・神田C ・黒条C ・阪之上C ・四郎丸C ・新組C ・関原C
- ・豊田C ・中島C ・ながおか市民協働センター(アオーレ長岡内)
- ・地域循環ネットワーク事務局



灯油の取扱いにご注意を! 昨冬の事故は、長岡市内だけで43件!

冬はホームタンクからの灯油の流出事故が多発します。

油流出事故防止の3か条

- ① ホームタンクからの小分け中は、その場を離れない。
- ② タンクバルブを完全に閉めたか確認する。
- ③ 積雪でタンクや配管が破損していないか日常点検をする。

▼もし油を流出させてしまったら!▼

- ① 元栓を閉め、新聞紙やタオルで外部への流出を防ぐなど、応急処置をします。
- ② その後、市役所または消防本部へ電話連絡します。

●環境政策課: 0258-24-0528 または、各支所市民生活課・産業建設課(栃尾支所は建設課)
●消防本部: 0258-36-0119 または、各消防署・出張所